

小学校第5学年 社会 調査問題


() 組 () 番 氏名 ()


1 たろうさんたちは、災害が起きたときの市町村や警察などの関係機関や住民などの役割について調べました。資料1から資料3を見て、次の(1)と(2)の問題に答えましょう。


資料1 災害から人々を守るしくみ

| | |
|------------------------|-------------------------------------------------|
| <p>調査時にはここにイラストが入る</p> | <p>資料2 自分ができること①</p> <p>調査時にはここにイラストが入る</p> |
| <p>調査時にはここにイラストが入る</p> | <p>資料3 自分ができること②</p> <p>調査時にはここにイラストが入る</p> |

(1) たろうさんとみかさんは、資料1を見ながら気付いたことを発表し合っています。①から④に当てはまる言葉を、資料1の中の言葉を使って書きましょう。

たろう  緊急時のひなん場所やひなん所には、救出する人や市町村、(①) から食料や水が届けられているんだね。

みか  (②) が助けに来てくれるしくみが整えられているなんて知らなかったよ。

たろう  災害が起きたときには、(③) と (④) は情報を伝え合って、協力しながら私たちが守る仕組みができているんだね。

(2) たろうさんは災害が起きたとき、身の安全をよりたしかなものにするために、自分ができることを考え、資料2と資料3を使って発表しました。発表内容として、もっともふさわしい文を次のアからエの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 過去に地域で起こった地震や津波などのひがいを伝えていくことが大切です。

イ 地域のひなんくんれんに参加し、地域の防災計画を見直すことが大切です。

ウ 日ごろから行動の仕方を考えたり、自分でそなえをしたりすることが大切です。

エ 大きな災害では、消防の人や警察の人たちと救助活動に向かうことが大切です。

小社一1

2


たろうさんたちは、スーパーマーケットではたらく人がどのような工夫をしているのか学習してきたことをふり返り、お客さんの願いとスーパーマーケットの工夫を資料1にまとめ、話し合いました。次の(1)と(2)の問題に答えましょう。


(1) お客さんの願いとスーパーマーケットの工夫の組み合わせが正しくなるように、資料1の●と○を線で結びましょう。(じょうぎを使わないで書きましょう。)

資料1 お客さんの願いとスーパーマーケットの工夫


| お客さんの願い | スーパーマーケットの工夫 |
|---------------------------------|---------------------------|
| ① どこに何があるのか、品物を探しやすくしてほしい。 | ○ ねふだに、産地やつくられた日、消費期限を書く。 |
| ② 家族の人数に合わせて、必要な分だけ買えるようにしてほしい。 | ○ リサイクルコーナーを置く。 |
| ③ 新せんで安全な食料品を買いたい。 | ○ 置いている商品を書いたかんばんをつける。 |
| ④ 地域のために、ごみへらす取り組みをしてほしい。 | ○ いろいろな大きさに切って、小分けして売る。 |


～わかったこと～

たろう  お客さんが気持ちよく買い物ができる「また買い物に行きたい」

みか  お客さんによろこんでもらいたい。売り上げがのびる。

(2) たろうさんたちは、資料1の「わかったこと」を見て、スーパーマーケットの取り組みについて話し合っています。みかさんの意見の()の中に当てはまる言葉を書きましょう。

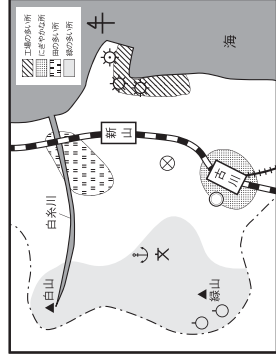
たろう  お客さんとしては、自分たちの願いがかなっていると気持ちよく買い物ができるから、また、そのスーパーマーケットに行きたいと思うね。

みか  スーパーマーケットの立場で考えてみると、お客さんによろこんでもらえるように工夫していくと、たたくさんのお客さんが来てくれて買い物してくれるから、その分の() ということだと思うな。

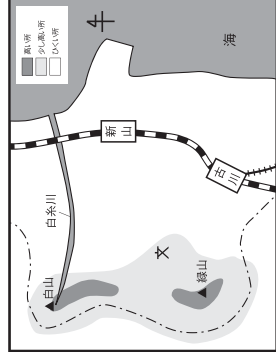
小社一2

- 3 みかさんは、市の様子について調べて、資料1と資料2のような地図にまとめました。次の(1)から(4)の問題に答えましょう。

資料1 土地の使われ方



資料2 土地の高さ



わたしたちの市には、山が2つあるね。学校から見ると、緑山は①の方にあるね。

- (1) みかさんが話す、①に当てはまる方位を、八方位を使って書きましょう。

- (2) みかさんは、土地の使われ方を資料1の地図にまとめるときに、地図記号をまちがった場所へかきました。それは、どの地図記号でしょうか。下のアからウの中から1つ選んでその記号を書き、そのように考えたわけも書きましょう。

ア ○ (果樹園) イ ☆ (灯台) ウ ♪ (港)

- (3) 資料1と資料2をもとに、みかさんが話す、②に当てはまる言葉を書きましょう。



資料1と資料2を見ると、鉄道は、土地のひくい所にあるといえるね。

資料1と資料2を合わせて見ると、わたしたちの学校は、②にあるといえるね。

- (4) みかさんたちは、資料1と資料2を見て、市の様子についてカードにまとめました。下のアからエまでのカードの中で、まちがっているカードを1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 白糸川のそばの土地のひくい所では、田が広がっている。
 イ 白糸川は、東から西へ流れている。
 ウ 市の東側には海が広がり、工場が見られる。
 エ 古川駅の周りの土地の低い所には、市役所がある。

小社—3

- 4 たろうさんたちは、さいたま市の見沼代用水について調べています。次の(1)から(3)の問題に答えましょう。



約300年前、井沢弥惣兵衛が中心になって、見沼代用水という用水路を作ったそうだよ。



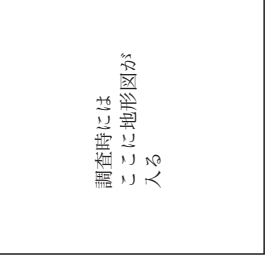
資料1と資料2で、見沼代用水完成前と後の地域の様子を見比べると、地域の様子が変わっているね。

資料1 見沼代用水完成前の地域の様子



調査時にはここに地形図が入る

資料2 見沼代用水完成後の地域の様子



調査時にはここに地形図が入る

- (1) 完成後に地域の様子がどのように変わったか、資料1と資料2を見比べて分かることを2つ書きましょう。

- (2) たろうさんは、「なぜ、見沼代用水をつくったのだろう。」という問いをもって、資料をもとに調べました。この問いを調べるために、もっともふさわしい資料を、資料3から資料5の中から1つ選び、その数字を書きましょう。

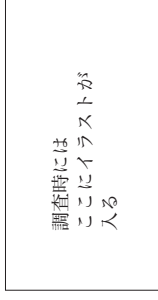
資料3 井沢弥惣兵衛にかかわる主なできごと

| 年 | できごと |
|------|---------------------|
| 1663 | 今の和歌山県で生まれる。 |
| 1710 | 和歌山県海南市に亀池をつくる。 |
| 1723 | 今の茨城県の鹿沼に田を開く。 |
| 1727 | 秋ごろから、見沼代用水の工事を始める。 |
| 1728 | 春ごろに、見沼代用水が完成する。 |
| 1729 | 江戸の中川や多摩川を直す。 |
| 1731 | 大井川を直す工事を行う。 |
| 1738 | 弥惣兵衛がなくなる。 |

資料4 見沼代用水ができる前

約300年前、地域には大きなぬまがあり、ぬまの水を米づくりに使っていました。一方、ぬまは底があさく、水不足が起きたり、雨が降りくと水があふれたりするという問題がありました。そこで、ぬまの水を使うことをあきらめ、ぬまの水をぬき、新しく土地を開こうと考えました。

資料5 工事の様子(想像図)



調査時にはここにイラストが入る

小社—4

(3) 次に、たろうさんたちは、「井内弥徳兵衛は、どのような願いや苦勞をかかえながら、工事を進めたのだろうか」という問いを解決するため、地域の歴史を研究する佐藤さんに話を聞きに行きました。資料6から考えた、問いに対するまとめの文としてふさわしいものを、下のAからEの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。



たろう

沼の水を米づくりに使っていた人たちは、工事に反対したと思うよ。工事に時間がかかったり失敗したりしたら、米がなくなってしまう。



おじこ

工事の大切さを、人々にわかってもらうことは、大変だったろうね。冬のきびしい寒さの中で行われた工事も大変だったと思うよ。

～ 地域の歴史を研究している佐藤さんに、お話を聞きました。～

資料6 地域の歴史を研究する佐藤さんの話

工事には、おおぜいの地域の農民たちに参加してもらい、農作業がへる秋から冬に工事を進めました。参加する村ごとに、担当する工事は人いを決め、各村が同時に進められるようにすることで、1年もかからず完成しました。

たろうさんたちが想像したような願いや苦勞があったと考えると、特に、短い時間で工事を終えることについて、大きなきんちゃん感をもって取り組んでいたようです。春までに水を引かなければ、農民が米をつくれなくなるからです。人々の生活を豊かにするため、苦勞を乗り越え工事を進めたと考えられます。地域には工事の無事を願って、井内弥徳兵衛が立てたと思われる灯ろうが残っています。

沼の水を使っていた人々の中には、工事に反対する人もいました。反対の声がある中、弥徳兵衛には工事を進めることに苦しい気持ちもあつたことでしょう。

弥徳兵衛は弟子や江戸の役所から来た人に対して、地域の人々にめいわくをかけた方がいいようにして指導したそうです。



おじこ

江戸の役所にたのまれ、多くの農民と協力して工事をした。各村から同時に工事を進め、短期間で見沼代用水を完成させた。見沼代用水が完成したことで、春から米づくりができた。

ア

たくさんの人々を集めるため、秋から冬に工事を進めた。工事に参加する村ごとに、担当する工事は人いを決め、各村が同時に進める工夫をした。その結果、短期間で完成した。

イ

工事に反対する人々の気持ちを考え、地域の人々にめいわくをかけたようにして進めた。また、春から米づくりに始められ、人々の生活が豊かになるように短い期間で工事を進めた。

ウ

地域の人々は、工事の無事を願えるように、寺に灯ろうを建てて、工事をした。工事に来た江戸の役人や弟子たちも、地域の人のためにめいわくをかけたように工事を進めた。

エ

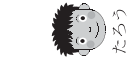
5

たろうさんは、資料を読み取り、青森県の様子についてまとめました。次の(1)と(2)の問題に答えましょう。

資料1 日本における青森県の位置



(1) たろうさんの会話の①に当てはまる言葉を資料1の言葉を使って書きましょう。また、②と③に当てはまる県名をそれぞれ書きましょう。



たろう

資料1を見ると、日本は、北海道、本州、四国、九州、沖縄島などの島々が弓のようにつながっていることが分かります。青森県は①の一番北にあり、太平洋側は②県、日本海側は③県と接しています。

(2) たろうさんは、資料2と資料3から読み取ったことをもとに、青森県の様子について考えたことをワークシートにまとめました。④に当てはまる内容を下の...の中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

たろうさんのワークシート

| | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>資料2 青森県の地形</p> | <p>資料3 青森県の市の人口</p> |
| <p>【資料から読み取ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青森県の中央には、八甲田山など高い山々が連なっている。その東には三本木原、西には津軽平野、北には青森平野という土地の高さが低いところが広がっている。 | <p>【資料から読み取ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青森県には、10市ある。人口が10万人～30万人の市は3つ、人口10万人未満の市が7つある。 |
| <p><資料2と資料3を関連付けると分かること></p> <p>④</p> | |

- ア 八甲田山は、八甲田山と八甲田山がある。
- イ 人口が10万人以上の市である青森市は陸奥湾に、八戸市は太平洋に、弘前市は日本海に面している。
- ウ 津軽平野には、10万人以上の市が4つある。
- エ 市役所は土地の高さが低いところに多い。

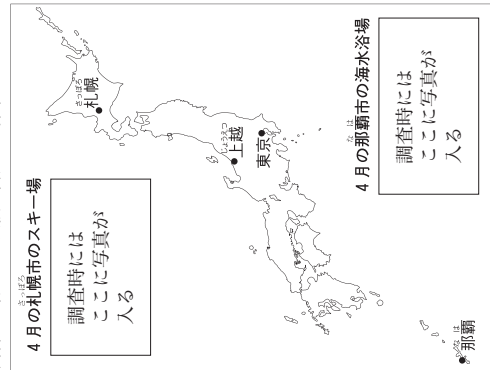
小社—6

小社—5

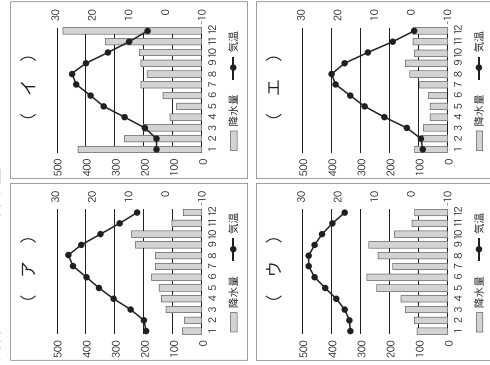
6 たろうさんたちは、日本の気候について調べたことを話しています。次の(1)と(2)の問題に答えましょう。

(1) 資料1は特色ある気候の代表的な都市を表しています。また、資料2はそれぞれの都市のその気候と降水量のグラフを表しています。たろうさんたちの会話を参考に、資料1の中の東京と上越の気候と降水量のグラフを資料2のAからEの中からそれぞれ1つ選んで、その記号を書きましょう。

資料1 特色ある気候の代表的な都市



資料2 その気候と降水量のグラフ



たろう

同じ4月でも札幌と那覇では、ずいぶん様子がちがうことが分かるね。南北のちがいが、気候にえいきよさうするんだね。

ともこ

気候にえいきよさうを与えるのは、南北のちがいがいいとは思ってない。資料1の上越と東京は、南北のちがいはあまりないのに、気候と降水量のグラフがずいぶんちがうよ。

たろう

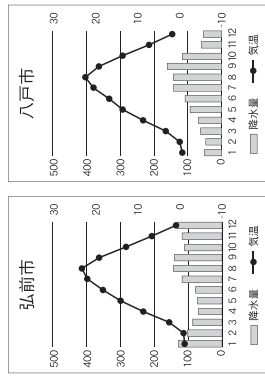
それは、季節によって、決まった方向に吹く「季節風」のえいきよさうだよ。太平洋側は、季節風のえいきよさうで夏に雨が多くなるよ。日本海側は、冬に雪が多くなるよ。

小社一7

(2) 次に、たろうさんたちは、日本の気候について学習したことをもとに、青森県の気候について考えました。会話の①と②に当てはまる言葉を、資料4にある言葉をぬき出して書きましょう。

また、③に当てはまる内容を、ともこさんの話す下線部分の説明を参考に、書きましょう。

資料3 弘前市と八戸市の気候と降水量



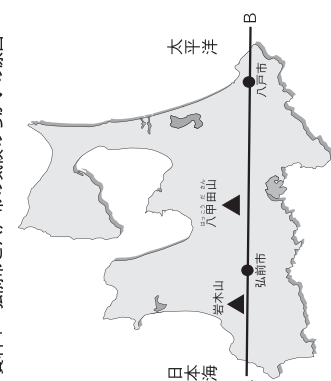
資料3の降水量に注目すると、青森県も季節風のえいきよさうを受けているとさえそうだね。

ともこ

たろう

資料4を見ると、季節風は、夏と冬では吹く方向がちがうことが分かるよ。

資料4 弘前市と八戸市の気候のちがいの原因

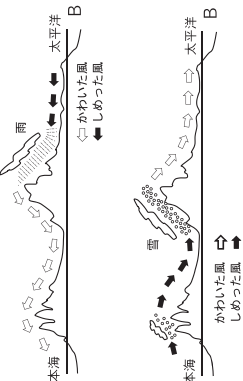


冬の季節風は、①側から吹いているね。しめった風が、山地にぶつかって、雪を多く降らせることが分かるね。

ともこ

夏の季節風は、②側から吹くよ。③ことが分かるね。この風は「やませ」と呼ばれているよ。「やませ」のえいきよさうで低温で小雨の日は多くなるよ。作物が育たない「冷害」にみまわれることがあるよ。

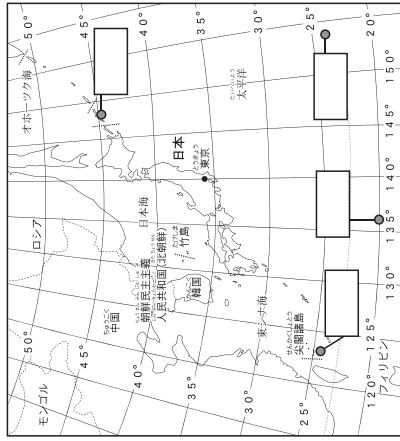
たろう



小社一8

7 たろうさんたちは、日本の国土の様子について学習しています。次の(1)から(3)の問題に答えましょう。

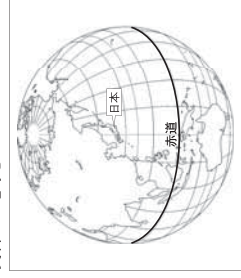
資料1 日本のまわりの国の様子



資料2 日本の東のはしの島

調査時にはここに写真が入る

資料3 地球ぎ



(1) たろうさんは、日本の国土の東西南北のはしの島を調べて、資料1にまとめています。資料2は、日本の東のはしの島の様子です。島の名前を から選んで書きましょう。

- 択捉島
- 沖ノ島
- 与那国島
- 南鳥島

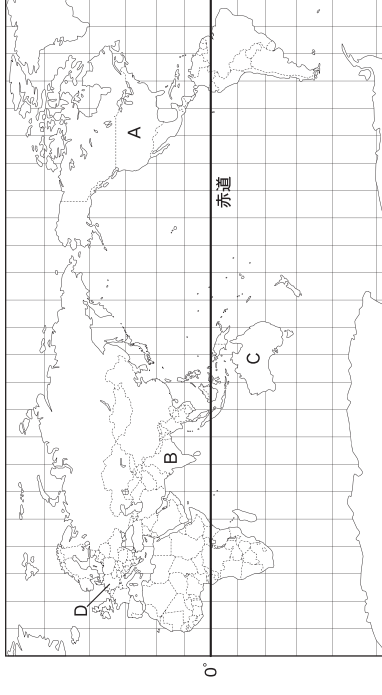
(2) たろうさんは、資料1と資料3を見ながら日本の領土のはんいについて気が付いたことを発表しました。 から から に当てはまる言葉をそれぞれ選んで で囲みましょう。

資料3を見ると、日本は 北・南 半球にあることが分かります。資料1と資料3をあわせて見ると、日本の領土のおよそのはんいは、北は 北緯・南緯 20°・45°・135° から、南は 北緯・南緯 20°・45°・135° までと言えます。



(3) たろうさんたちは、資料4と資料5をもとにして、日本の国土の特色について気が付いたことを話し合いました。ともさんの発表の ⑥ と ⑦ に当てはまる方位を書きましよう。また、 ⑧ に当てはまる国を、資料4のAからDの中から1つ選んで、その記号を書きましよう。

資料4 世界の国々



資料5 たろうさんがメールでもらった写真

調査時にはここに写真が入る



資料4を見てください。私は、日本はユーラシア大陸の ⑥ にあって、太平洋の ⑦ にある国と言え、と考えました。



資料5は、この国出張中のお母さんから、メールでもらった写真です。この国では、12月25日のクリスマスは夏に当たるそうです。日本と ⑧ はほぼ同じ緯度にあるのに、同じ時期でも日本と季節が違っていて不思議だな。他の国と比べることで、日本の国土の特色について、さらに分かりました。